

生徒総会 5月29日



臨時休校で延期されていた生徒総会が行われました。感染防止の対応のため、全校生徒が集まらない中、様々な工夫を随所に取り入れながら生徒会役員のみなさんが見事な連係プレーで、生徒総会を開会してくれました。生徒会が一丸となっている姿に頼もしさを感じました。

人権教育 ①6月9日 ②6月16日



【校長講話】

皆さんおはようございます。今日はこのような状況の時期なので、校長室よりI C T機器を活用して講話を行います。

新型コロナウイルス感染拡大防止対応としての休校、分散登校を経て、ようやく学校生活も軌道に乗ってきていることと思います。皆さんは、新しい生活様式に準拠して感染防止に努めながら、自分ができることを精一杯実践してくれています。ありがとうございます。

さて、今日から人権教育が始まりました。そのスタートとして、「ヤマアラシのジレンマ」というお話をしたいと思います。聞いたことがある人もいると思います。

皆さんは、ヤマアラシという動物を見たことはありますか。天敵から身を守るために、体の側面や背面に鋭いトゲがあります。これがヤマアラシの大きな、そして大切な特徴です。このヤマアラシのつがい、ある寒い日、身を寄り添ってお互いを温めようとしていました。しかし、この鋭いトゲがあるため、近づくとお互いを傷つけ合ってしまいます。但し距離が遠いと寒いままです。くっついたり離れたりを何度も繰り返し、お互いがぶつかり合うこともありましたが、次第にお互いが心地よい距離が分かってきました。最終的には近すぎず遠すぎず、丁度良い距離を見つけたというお話です。

このことを我々に置き換えてみましょう。ヤマアラシの特徴であるトゲ。皆さんにとってはどんなものでしょうか。「元気がある」「声が大きい」「優しい」「おとなしい」等々、人にはそれぞれが持つ特徴がありますね。その人にしかない、自分にしかない輝きを放つもの。我々はそれを「個性」と呼んでいます。個性はみんな違っていいです。それでいいのです。この個性がたくさん集まった集団が人間社会であり、学校であり、学年や学級であり、部活動でありということです。

先程のヤマアラシと同じように人同士、友達同士、個性がぶつかり合うこともあります。人によって針の長さも違うし、痛さを感じる距離も違います。言い換えると個性は一人ひとり違うので、何度も何度も繰り返しながら、考えながら、丁度よい距離感を見つけ出していきます。遠く離れてしまっては何もありません。ヤマアラシではお互いが寒くて・・・ということでした。くっつきすぎず、離れすぎず、主張しすぎず、我慢せず・・・皆さんも人間関係の距離感を見極めるため色々なことを思い、悩み、試し、考え、家族や先生方にも相談しますね。

しかし、最後は人です。仲間や友達同士で、自分の個性、友達の個性を大切に伸ばしながら丁度良い距離感をみつけましょう。

1 学年



2 学年



3 学年



避難訓練 6月2日



校舎からの避難・誘導、職員係活動、生徒引き渡し訓練を行い、校長先生より講評をいただきました。

部活動(1年生正式入部) 6月12日



<生活記録より>

◇今日の部活で3人チームになり、5分間のドリブル無しの試合をしました。2回戦目にシュートを入れることができ、とてもうれしかったです。まだまだみんなより弱いので強くなれるよう頑張りたいです。(バスケット部1年生)

◇今日は久しぶりに外での部活がありました。昨日までは雨で校舎でやっていました。私はハードルをやりました。歩いてフォームに気を付けながらまたぐ練習をしました。中長距離の人たちは外周りをずっと走っていて、すごいと思いました。私も2、3年生のようにかっこよく跳べるように頑張りたいです。(陸上部1年生)

◇私はバレー部に入部しました。よくルールはわからないけど、先輩が教えてくれたので、できました。すごく楽しかったです。これからルールを覚えて、しっかりできたいと思っています。(バレー部1年生)

◇今日から1年生が正式に入部してくるのかなぁと思い、本当にありがたい気持ちでいっぱいでした。また人数が増えたことで活気が出てきてサッカー部も勢いが出てきたと感じました。今日から新1年生の力を借りて取り組んでいきたいです。(サッカー部3年生)

◇1年生が入部しました。吹奏楽部は昨年2人という人数でしたが、今回は15人も入部してくれて、9月までは33人という人数で活動ができると思うととても嬉しいです。残り3ヶ月頑張りたいです。(吹奏楽部3年生)

韓国報告会 6月29日



<「ホームステイを終えて（滝田大和さん）」報告会より> ※紙面の関係上、一部抜粋しています

私は今回のホームステイで、「チェさん」の家にお世話になりました。ホストファミリーの家は高いマンションの1階で、そのマンションの高さや数は宮田村や東京とは違って、文字通り高層マンション群で驚きました。家の中には大きな本棚が置かれていて、本がびっしりと詰まっていた。本棚の中には日本の本もあり、「ドラえもん知っている?」と聞くと、「知っているよ。みんな好き」と答えてくれました。ほかにもアトムやクレヨンしんちゃんなど、日本のアニメについてとてもよく知っていてうれしかったです。韓国でのおやつで代表的なものが、トッポギです。トッポギはとても辛くて、おやつとは思えないほどの刺激があります。そのトッポギをおやつにいただきました。やはり予想通りの辛さでした。夕食にはチーズダッカルビをいただきました。一度日本で作ったことはありますが、それと比べ物にならないくらい辛く、いつも韓国人の人はこんなに辛い物を食べているのだ、と驚きました。韓国の食文化として、箸やスプーンなどは銀色で重く、私たちにとっては使いやすいものではありませんでした。しかし食事は家族全員で食べることを大切にしているとても良い国だなと思いました。

韓国に行ったときはクリスマスシーズンで、とても寒かったです。日本ではこたつを文化として使っていますが、韓国では1000年以上前から「オンドル」といって床暖房の文化があります。そのおかげで家の中では半そででいけらいた。国も言語も違う家にお世話になって、最初は本当に緊張しました。しかしおやつを食べたり夕食と一緒にしたりしてだんだん仲良くなっていくにつれて、韓国人、韓国という国に大好きになりました。日本人に対してとてもWelcomeで言葉が伝わらなくても笑顔でとてもうれしかったです。ホストファミリーの皆さんに感謝とともに次は日本に来て、宮田や日本のことを紹介したいと思いました。